



江戸名所
虎門金毘羅
二代広重 文久3年(1863)
Edo-meisho
Toranomon Kōpira Shrine
An Ukiyoe by Hiroshige (the second), 1863.

あおいちょう 葵町

明治五年(1872)、武家地が合併して溜池葵町となり、明治四十四年(1911)、冠称の溜池を廃して葵町と改称されました。町名は葵坂があったことに由来します。溜池の南端は堰になっていたので池の水が滝となって流れ落ちており、この滝口へ上る坂が葵坂で、坂上の辻番所には蜀葵が多く植えられていたと伝えられています。

名高い坂でしたが、道路改正により現在はほとんど平らで坂という名を残すだけとなっています。

いまいりちょう 今入町

もとは桜田久保町および桜田太左衛門町があった地域でしたが、寛政六年(1794)の火災で類焼した後は火除地となりました。文政年間(1818~1830)に日比谷門外の江戸幕府の御用屋敷がこの地に移されましたが、明治二年(1869)に廃止され、麻布今井町、入寺町、赤坂氷川町の住居の一部がここに移動して、明治三年(1870)、今井と入寺の二町名の字をとって今入町となりました。

ことひらちょう 琴平町

もとは丸亀藩京極佐渡守、人吉藩相良志摩守、日出藩木下飛驒守、遠山美濃守、谷主計の屋敷でしたが、明治五年(1872)にこれらを合併して琴平町となりました。琴平の名は京極家邸内に金刀比羅大権現があったことに由来します。明治初年(1868)、藩邸は上地となりましたが、金刀比羅大権現は金刀比羅宮として残され、多くの参詣客でにぎわいました。

にしくぼあけふねちょう 西久保明舟町

もとは武家地でしたが、明治初年(1868)、明石町、船松町二丁目、芝車町、伊皿子七軒町、三田功運寺門前、三田台町一丁目の六つの町の代地となりました。翌年の明治二年(1869)にこれらを合併し、明石、船松の町名より一字を取って明舟町と名づけられました。明治五年(1872)にはさらに付近の旧武家地を合併しています。

にしくぼさくらがわちょう 西久保桜川町

明治五年(1872)、水口藩加藤氏、松本藩戸田氏、松代藩真田氏、菊間藩水野氏および諸幕士の屋敷を合併して西久保桜川町となりました。町名は町内を流れていた桜川に由来します。その昔、この付近一帯が田畑であったころ、桜川両岸は桜並木となっていたといわれています。

桜川はその後、少しずつ埋め立てられ流域も変わり、下水溝となって大正時代まで存在していました。



平成18年(2006)



大正10年(1921)

The origins of old town names in Shiba area.

This signboard guides the origins of old town names, each of which in most cases represents its own history of the beginning or the location.

Aoi-chō

A town named *Tameike' aoi-chō* came into existence in the 5th year of Meiji (1872) and was renamed *Aoi-chō* with the word *Tameike* removed. It is said that the town's name came from *Aoi-zaka* slope, at the top of which a guard station was located with hollyhocks (*aoi*) abundantly growing in the yard.

Imairi-chō

In the 2nd year of Meiji (1869) some residences in *Azabu'imai-chō*, *Iridera-chō* and *Akasaka'hikawa-chō* were moved to this place, and the next year it was named *Imairi-chō* with a part of Chinese characters of two towns' name, *Azabu'imai-chō* and *Iridera-chō*, combined.

Kotohira-chō

In the 5th year of Meiji (1872) this place was named *Kotohira-chō* because there was the *Kotohira-gū* Shrine in the estate of the *Kyōgoku* family.

Nishikubo'akefune-chō

In the early years of Meiji this place became *daichi* (a substitute land) for the 6 towns, namely, *Akashi-chō*, *Funamatsu-chō* 2-chōme, *Shibakuruma-chō*, *Isarago'shichiken-chō*, *Mita'kōunji'monzen* and *Mita'dai-machi* 1-chōme. The next year they were united as a town named *Akefune-chō* with a part of Chinese characters of two towns' name, *Akashi-chō* and *Funamatsu-chō*, combined and differently pronounced.

Nishikubo'sakuragawa-chō

In the 5th year of Meiji (1872) this place was named *Nishikubo'sakuragawa-chō* after the river *Sakura-gawa* (*sakura* meaning flowering cherry trees) running across the town. In those days when the whole neighborhood was farmland, the both banks of the river were lined with flowering cherry trees.

芝地区総合支所 03-3578-3111(代表)

ここは、港区虎ノ門1-21-10です。